

平成30年12月7日
北海道教育大学

2021年度（2020年度実施）入学者選抜の見直しに係る予告について

「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」（平成29年7月13日付け29文科高第355号文部科学省高等教育局長通知）を踏まえ、2020年度に実施する2021年度入学者選抜を次のとおり変更する予定です。

1. 入試区分の呼称変更について

入試区分の呼称を次のとおり変更します。

変更前	変更後
一般入試	一般選抜
推薦入試（一般）	学校推薦型選抜（一般）
推薦入試（地域指定）	学校推薦型選抜（地域指定）
教員養成特別入試	総合型選抜（教員養成特別入試）
自己推薦入試	総合型選抜（自己推薦入試）
帰国子女入試	特別選抜（帰国子女入試）
社会人入試	特別選抜（社会人入試）
私費外国人入試	特別選抜（私費外国人入試）
編入学入試	特別選抜（編入学入試）

2. 大学入学共通テストについて

高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的として、大学入学共通テスト（以下、「共通テスト」という。）の枠組みにおける入学者選抜を実施します。その実施教科・科目は、現行の教科・科目とします。

3. 英語認定試験の取扱いについて

- (1) 一般選抜については、大学入試センターから提供される資格・検定試験（以下、「英語認定試験」という。）の成績をCEFR*による段階別表示を基に点数化し、共通テストの英語試験の得点に加点して活用することとします。（英語認定試験の受検の有無にかかわらず、本学の一般選抜を受験することは可能です。）

加点の最高点は、共通テストの英語試験（リーディング及びリスニング）に配点された得点合計の2割程度とします。（共通テストの英語試験の得点に、英語認定試験の成績による加点をした結果、満点を超える分の点数は加点の対象にはしません。）

なお、共通テストに加点する点数等の具体的な設定については、今後、公表します。

(2) 共通テストを課す総合型選抜（教員養成特別入試）における英語認定試験の取扱いは、上記（1）と同様とします。

また、学校推薦型選抜（一般（函館校を除く。）、地域指定）及び岩見沢校の総合型選抜（自己推薦入試）（芸術・スポーツビジネス専攻を除く。）については、英語認定試験を利用しません。

なお、函館校の学校推薦型選抜（一般）、岩見沢校の芸術・スポーツビジネス専攻の総合型選抜（自己推薦入試）及び特別選抜（社会人入試、私費外国人入試）における英語認定試験を含む外国語資格保持者のスコア等の活用の在り方等については現在検討中であり、まとまり次第、公表します。

4. 記述式の活用について（国語・数学）

共通テストで国語・数学を課す選抜においては、記述式問題を含む国語・数学を課すこととします。

国語の記述式の段階別成績表示については、その結果を点数化しマークシート式の得点に加点して活用することを基本とします。具体的な加点方法等については、今後、大学入試センターから示される方針に基づき、改めて公表します。

なお、数学の記述式の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

※ CEFR・・・外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages: learning, teaching, assessment）とは、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、欧州評議会（Council of Europe）が2001年に発表したものである。外国語の習熟度を、A（基礎段階の言語使用者）、B（自立した言語使用者）、C（熟練した言語使用者）に分け、それを更に、A1、A2、B1、B2、C1、C2の6段階のレベルで表示することとしている。